

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)

愛称：世カエル 世界を変える技術 追加型投信/内外/株式/インデックス型

※当レポートでは、「インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド」を「世界ブロックチェーン株式ファンド」、
「インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)」を「予想分配金提示型コース」ということがあります。

特別レポート

世カエルの運用状況とブロックチェーン市場の今後

- 1 年初来の世カエルの振り返り
- 2 様々な業界において課題の解決をもたらすブロックチェーン技術
- 3 大手金融機関も参入しているブロックチェーン市場

ポイント 1

年初来の世カエルの振り返り

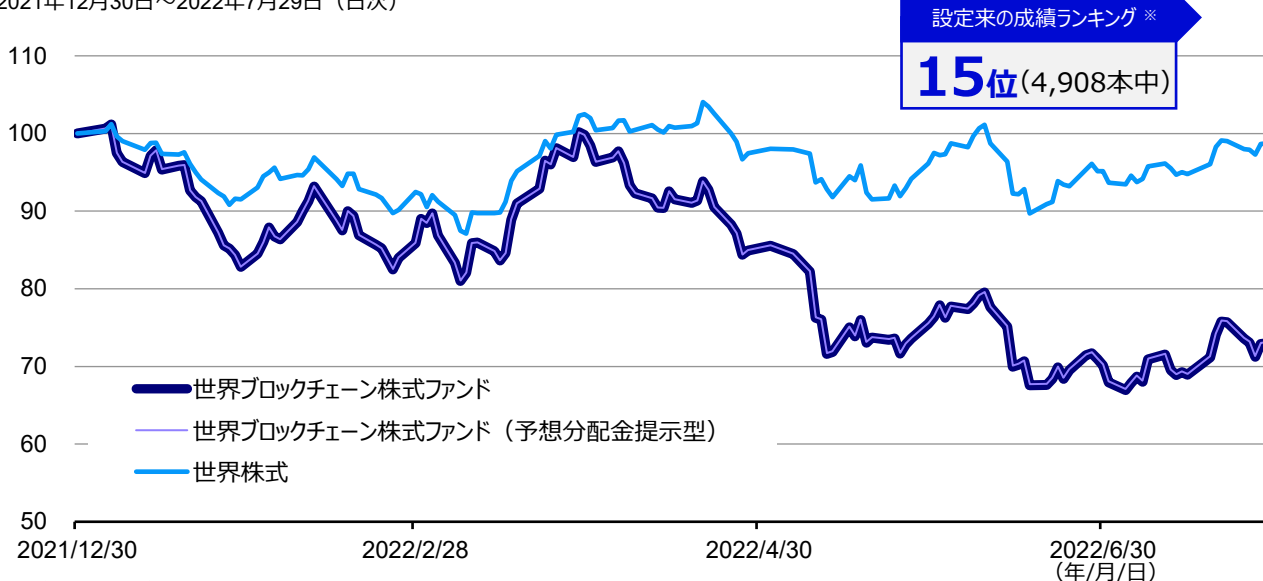
1. 年初来の市場動向と世カエルのパフォーマンス

世界の株式市場は、2022年2月から3月にかけてロシア・ウクライナ紛争を受けた地政学リスクの急激な高まりにより、大幅に下落しました。その後は、原油など資源価格の上昇によるインフレ圧力の高まりや、各国・地域の中央銀行による利上げ加速が景気後退へつながらとの警戒感が高まったことも、株式市場の下落圧力につながり、変動性の高い相場展開となりました。

世カエルの基準価額は、2022年4月に米国のインフレ率の高止まりを背景に、FRB（米連邦準備理事会）がタカ派姿勢を強めたことなどから暗号資産関連の株式が下落したことが影響し、下落基調となりました。その後は、暗号資産に関する悪材料をこなしつつ、7月に入ると株式市場の回復とともに、リスク回避姿勢が和らいだことで、回復に転じました。

年初来のファンドの基準価額（課税前分配金再投資）と世界株式の推移

2021年12月30日～2022年7月29日（日次）



出所：ブルームバーグ、インベスコ

上記は過去のデータであり将来の成果をお約束するものではありません。世カエルは、信託報酬控除後基準価額です。基準価額は、課税前分配金を再投資したと仮定した数値を用いています。世カエルは、2021年12月30日を100として指数化しています。世界株式：MSCIワールド。世界株式は、2021年12月30日の前営業日を100として指数化しています（トータルリターン、円ベース）。当ファンドはインベスコ・グループが運用を行います。インベスコ・グループは、インベスコ・リミテッド並びにインベスコ・リミテッド子会社からなる企業グループで、グローバルな運用力を提供している独立系資産運用会社です。当資料では、インベスコ・グループをインベスコといいます。※Fundmark/DLからインベスコ作成。当ファンドのうち最も長期の運用実績をお示しするため、インベスコ 世界ブロックチェーンファンドの設定来（2019年7月11日～2022年7月29日）の運用実績を使用しています。同期間の運用実績（課税前分配金再投資基準価額）を取得できる日本国内の公募投資信託4,908本を比較。上記は過去のデータであり将来の成果をお約束するものではありません。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

2. 今後の見通し

株式市場の見通し

FRBによるインフレへの対応が好感され株式市場は反転

株式市場は2022年6月の中旬以降反発していますが、きっかけは、7月に実施されたFOMC（米連邦公開市場委員会）で市場の予想通りの0.75%の利上げとなったことで、FRBの積極的な利上げ姿勢が回避され、安心感が広がったことにあります。また、8月に公表された米国の7月のCPI（消費者物価指数）ではインフレが落ち着く兆しが出てきたため、FRBによるタカ派化懸念がさらに和らぎ、株式市場は反発の勢いを強めています。

景気後退懸念があるものの、相対的に底堅い業績が予想されるテクノロジー株式などが選考されることを見込む

しかしながら、同時に景気減速感が強まってきており、民間消費の減速や企業収益への波及を考慮すると、景気敏感株式や消費関連株式には向かい風が吹くことが想定されることから、これらの企業にとってはこの先の戻り幅も限定的と考えられます。一方で、米国の長期金利は低下基調にあることから、景況感が悪化する中でも相対的に底堅い業績が予想されるテクノロジー分野等のグロース株は、景気敏感株に比べ、株価の反発が持続する可能性が高いと考えられます。実際に、ビットコインなどの暗号資産価格も株式市場の反発と金利の低下を受けて反転しており、関連する企業の株価も力強く反発しています。

ブロックチェーン関連株式市場の見通し

暗号資産分野の株式は変動性の高い展開が予想される一方、非金融分野への活用が魅力的な投資機会を提供

世カエルでは、暗号資産分野でのビジネスを主力とするマイニング・ハードウェア／オペレーション企業や、ブロックチェーン金融サービス企業に着目しているため、短期的には大きな値動きを伴うことが予想されます。一方で、世カエルの設定来、ブロックチェーン技術はさまざまな分野での活用が拡大しており、新しいサービスや産業を生み出しています。新規参入企業だけでなく、既存企業による関連分野への新たな投資も拡大しており、ブロックチェーン技術は今後も魅力的な投資機会を提供していくと考えられます。

世界ブロックチェーン株式ファンド 産業別分類の構成比率

2022年7月末現在

産業分類	構成比率
ブロックチェーン技術ソリューション	19.8%
ブロックチェーン決済システム	3.5%
エネルギー	7.0%
トークン・インベストメント	2.8%
マイニング・テクノロジー	-
マイニング・ハードウェア	19.4%
ブロックチェーン金融サービス	38.3%
マイニング・オペレーション	6.5%

出所：インベスコ

上記の産業分類は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。ファンドの構成比率は、純資産総額比率。

上記は過去のデータであり将来の成果をお約束するものではありません。上記は2022年8月時点における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド
 インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)

3. 投資銘柄例のご紹介

マネックスグループ (ブロックチェーン金融サービス) 業種：金融 国・地域：日本

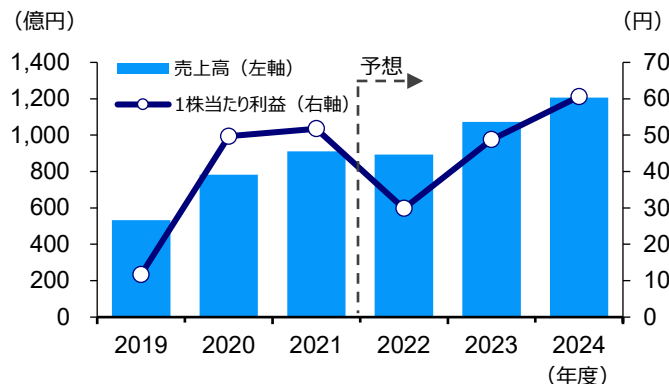
投資の視点

- 傘下に暗号資産取引所のコインチェックを有するほか、日本国外では子会社のトレードステーションを通じた暗号資産取引のサービスを提供。
- これまでのオンライン証券会社から新たな金融サービス提供会社へと成長させることを経営戦略として取り組んでおり、ブロックチェーン技術を活用して企業が次のステージへ成長する投資機会を捉えられることを期待。

過去3年間の株価推移



売上高および1株当たり利益の推移



台湾積体電路製造 (マイニング・ハードウェア) 業種：情報技術 国・地域：台湾

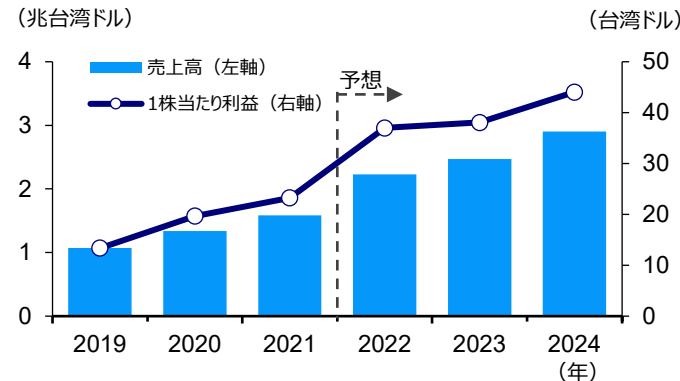
投資の視点

- 世界有数の半導体ファウンドリ (生産受託会社)。暗号資産のマイニング向け集積回路メーカーにとって重要なサプライヤー。韓国、中国、米国などの競合他社と比較し、相対的に高い成長率と利益率を誇る。
- 競合他社に比べ、早くからファウンドリに特化し蓄積してきた製造技術の優位性を持ち、収益性と持続性の高いビジネスを行っている点も評価。

過去3年間の株価推移



売上高および1株当たり利益の推移



出所：ブルームバーグ、インベスコ

国・地域は、発行体の国籍 (所在国) などで区分しています。業種はGICS (世界産業分類基準) に準じています。上記銘柄は例示を目的として示したものであり、当ファンドにおける組入れ・売却を示唆・保証するものでも、投資を推奨・勧誘するものでもありません。上記は過去のデータであり将来の成果をお約束するものではありません。企業業績予想についてはブルームバーグ集計のアナリスト予想 (2022年8月15日時点)。上記は2022年8月時点における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド
 インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)

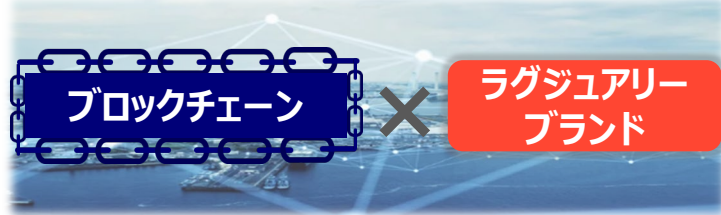
ポイント 2

様々な業界において課題の解決をもたらすブロックチェーン技術

ブロックチェーンは、仮想通貨やフィンテックへという新しい領域を生み出してきましたが、ブロックチェーンの本質である「高い安全性、分散、低コスト」という特色から、今後は非金融領域の産業への広がりが期待されています。すでに、幅広い業種でブロックチェーンを活用する動きがみられていますので、一部をご紹介します。

非金融領域でのブロックチェーン技術の活用例

市場に横行している高級ブランド品の偽造品対策



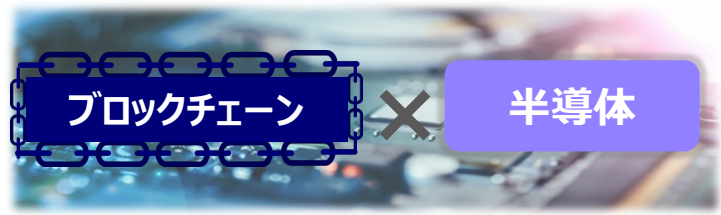
高級ブランドの偽造品による被害は甚大であり、それを解決するためブロックチェーン技術が活用されています。発行される証明書の情報から正規品かどうかを判断できる仕組みに加えて、商品のメンテナンス情報も所有権と商品と紐づいた形で追跡、記録することができます。偽造品から消費者を守るだけでなく、中古市場における売買の安全性を高めることから、ブランドの価値の向上にもつながることが期待されます。

COVID-19ワクチン接種の普及を促進するソリューションを提供

①ワクチンの追跡、②品質保証、真正性の確保、③接種の予約アプリ、接種証明の発行、④接種会場のスケジュール管理、医療従事者の人員確保、などワクチンを安全に配布・管理したり、迅速な接種をスムーズに進める技術をブロックチェーン技術を使って提供が可能となっています。



半導体不足により増加している模倣品被害を防ぐ



模倣品による半導体のブランド毀損や使用される製品の事故防止の機運が高まっていることから、半導体の業界団体であるSEMIの日本地区でブロックチェーンによるトレーサビリティ*1の規格化が進められています。ブロックチェーン技術を用いることで、その製品が辿ってきたルートが改ざんされていないことが保証されるため、企業は納品された半導体に模倣品がないか事前に確認し事故を防ぐことができ、また半導体メーカー側も自社のブランド毀損を防ぐことができます。

関連銘柄のご紹介 **オラクル** 業種：情報技術
 投資の視点

- 企業向けデータベースや経営管理ソフトウェア大手企業として、クラウド上でソフトウェアを提供するSaaS*2企業としての地位を確立している。
- ブロックチェーン技術を活用した製品を個別プロダクトとして提供するのではなく、既存の主力商品に組み込む戦略を取っており、今後SaaS企業からBaaS*3企業へと変革を遂げることが見込まれる。
- 幅広い業種の顧客基盤を有しており、業界固有の課題をブロックチェーン技術を活用して解決する、ソリューション・プロバイダーとしての役割に期待。



*1 商品の生産から消費までの過程を追跡すること。製品の品質向上に加え安全性の高まりから重要度が増しており、幅広い分野に浸透し始めている。このトレーサビリティを運用するのにブロックチェーン技術が活用されている。*2 Software as a Serviceのこと。ベンダーが提供するクラウドサーバーにあるソフトウェアを、ユーザーがインターネットを経由して利用できるサービス。*3 Blockchain as a Serviceのこと。クラウドベースで提供されるブロックチェーンの開発・運営のためのプラットフォームのこと。出所：ブルームバーグ、インベスコ 国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。業種はGICS（世界産業分類基準）に準じています。上記銘柄は例示を目的として示したものであり、当ファンドにおける組入れ・売却を示唆・保証するものでも、投資を推奨・勧誘するものでもありません。上記は過去のデータであり将来の成果をお約束するものではありません。上記は2022年8月時点における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)

ポイント 3

大手金融機関も参入しているブロックチェーン市場

- ブロックチェーン技術は金融取引に親和性が高く、暗号資産を扱う新興企業だけでなく、世界の大手金融機関もブロックチェーン技術の活用に動いています。
- ブロックチェーンという真っ先に思い浮かぶ仮想通貨に対してのかかり方の程度は金融機関によって差があります。
- 一方、従来からの銀行業務である決済、貿易取引、証券取引などについては、すでに多くの金融機関でブロックチェーン技術の導入が始まっています。
- 特に、銀行業務の根幹となる決済サービス分野で覇権を握るべく米国、欧州、日本などの大手金融機関が開発に動いています。その背景として、企業向けブロックチェーンには以下のような特徴があるからです。



- ❁ 一度記憶されたデータは改ざんがほぼ不可能であり、改ざんされた場合でもその記録が残る
- ❁ 閲覧の権限を設定するなど、金融機関に求められるセキュリティ対策も可能
- ❁ 中央のサーバーにデータを一極集中管理するものではないことから、システム障害の影響を受けにくい

ブロックチェーン技術が活用される金融サービス例

金融サービス	メリット
支払い・決済	ブロックチェーン技術は第三者による承認を不要にし、従来の銀行振替よりも処理時間を短縮した低コストで安全な送金手段を提供する。
清算決済システム	送金にかかわる運用コストを削減し、金融機関の間でほぼ即時の取引を可能にする。
社債発行	ブロックチェーンを用いたデジタル証券での社債の発行により、発行、利払い、償還にかかわる複雑なプロセスを一元化でき、即時決済やコストを低減できる。
貿易金融	煩雑で紙を大量に使う船荷証券に取って代わることで、世界の貿易関係者間の透明性や安全性、信頼性が高まる。
顧客の本人確認不正防止	顧客情報を分散されたブロックチェーン上に保存することにより、銀行や証券で必要な煩雑な本人確認に関して、金融機関の間でより簡単で安全に情報を共有できる。

- さらに、ブロックチェーン技術を活用した新しいビジネスで高い成長が期待されている①デジタル・アートやゲームのアイテムの所有権や真贋（しんがん）の証明を可能とするNFT（ノンファンジブル・トークン）や②メタバース（仮想空間）などの市場へ参入する動きも見られています。
- 新興の金融機関の台頭や金融危機後に規制が強化されてきたことなどを背景に、大手金融機関の収益環境が厳しくなっています。そこから脱却するため、ブロックチェーン技術を積極的に活用する動きは一層広がることが期待されます。



各種資料よりインベスコ作成 写真はイメージです。

上記は金融機関が参入しているすべてのブロックチェーン市場を網羅したものではありません。

上記は2022年8月時点における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド
 インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)

(ご参考) 世カエル設定来の基準価額推移

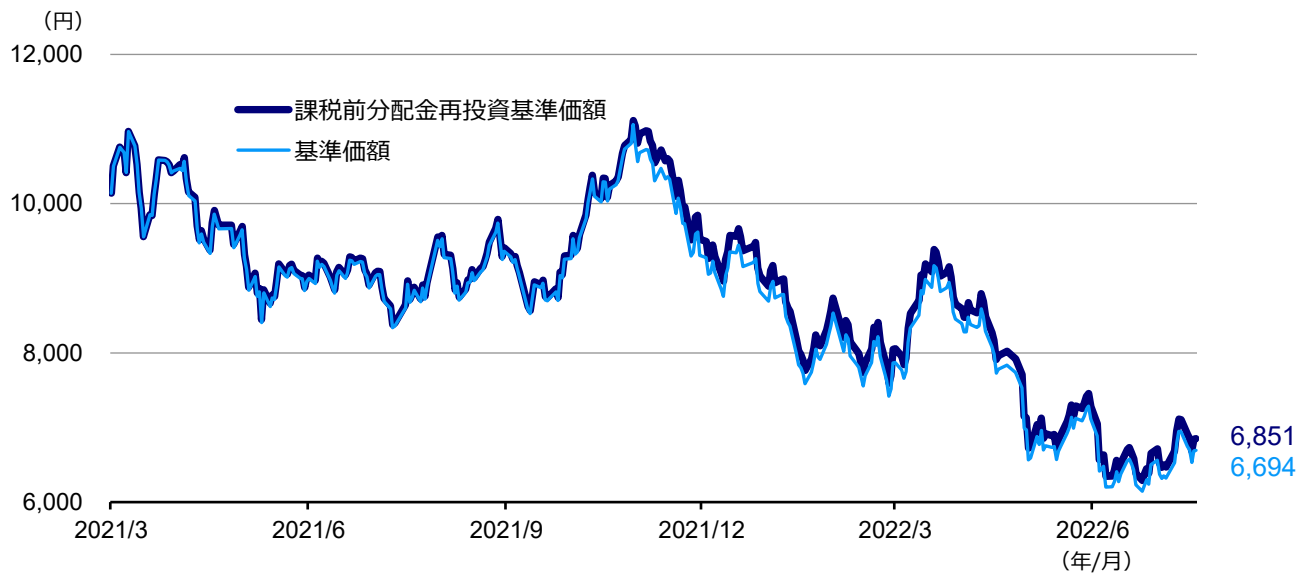
インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドの設定来基準価額推移

2019年7月11日～2022年7月29日 (日次)



インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型) の設定来基準価額推移

2021年3月11日～2022年7月29日 (日次)



出所：インベスコ

上記は過去のデータであり将来の成果をお約束するものではありません。基準価額は信託報酬控除後基準価額です。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

ファンドの特色

1. 主として、マザーファンド※1 受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国のブロックチェーン関連株式に投資を行います。効率的な運用を目的として、ブロックチェーン関連株式を投資対象とする上場投資信託証券にも投資することがあります。
2. コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（円換算ベース）※2の動きに連動する投資成果※3を目指します。
3. 実質外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行いません。
4. インベスコ・キャピタル・マネジメント・エルエルシー（米国、ダウナーズグループ）に、マザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。

◆分配方針

■各ファンドの決算日（同日が休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ・インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドの決算日：毎年7月10日
- ・インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）の決算日：毎月10日

■ 分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。

■ ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。

※予想分配金提示型の分配方針の詳細については下部の「予想分配金提示型の分配方針」を参照ください。

※1 ファンドが投資対象とするマザーファンドは、「インベスコ 世界ブロックチェーン株式マザーファンド」です。

※2 ◇ファンドは、コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（円換算ベース）をベンチマークとします。◇コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（円換算ベース）とは、基準日前営業日のコインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（米ドルベース）の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）で独自に円換算したものです。◇コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックスは、コインシェアーズ・インターナショナル・リミテッドが独自の分析に基づき選定した銘柄で構成され、ソラクティブ AG（ソラクティブ社）によって算出、公表されています。◇ソラクティブ社は、コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（当指数）、およびその登録商標、当指数データの利用結果に関して、何時、いかなる点においても明示的、黙示的な保証または確約を行いません。ソラクティブ社は当指数を正確に算出するために最善を尽くしますが、指数提供者としての義務にかかわらず、投資家および金融商品の仲介者を含む第三者に対して、当指数の誤りを指摘する義務を負いません。ソラクティブ社による当指数の公表および金融商品に関連した目的での当指数または当指数の商標利用の使用許諾は、ファンドへの投資を推奨するものではなく、また、ファンドへの投資に関してソラクティブ社の保証または意見を表明するものではありません。

※3 ファンドは、ベンチマークと連動する投資成果を目指して運用を行いますが、基準価額とベンチマークの動きは乖離する場合があります。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドおよびインベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）では、2021年10月15日にインデックス・アドバイザーおよびベンチマークの名称が変更されています。詳細については、インベスコ・アセット・マネジメントのホームページにてご確認ください。



予想分配金提示型の分配方針

・予想分配金提示型の場合、分配対象額の範囲※1内で、決算日の前営業日の基準価額※2に応じて、以下の金額の分配を目指します。

※1 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含む配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

※2 基準価額は1万口当たりとし、支払済の分配金累計額は加算しません。

決算日の前営業日の基準価額 （1万口当たり）	分配金額 （1万口当たり、課税前）
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

・基準価額に応じて、分配金額は変動します。

・基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を継続する、というものではありません。

・分配を行うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

・決算日の前営業日から決算日までの間に基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市況動向等によっては委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配が行われない場合があります。

* 上記は、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド
 インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)

収益分配金に関する留意事項

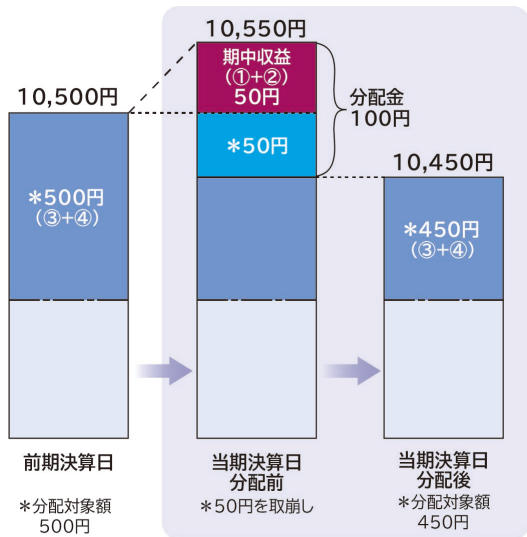
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



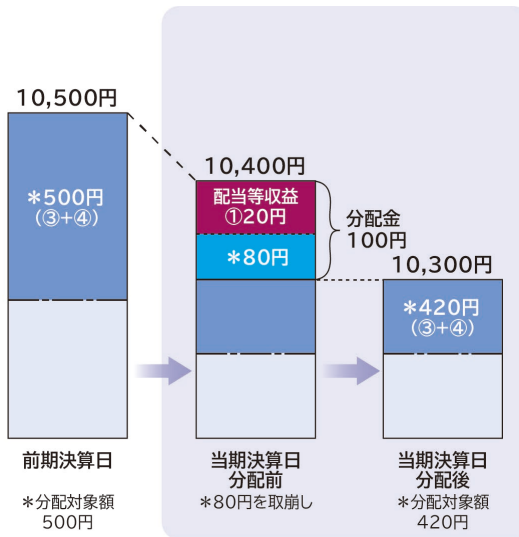
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合



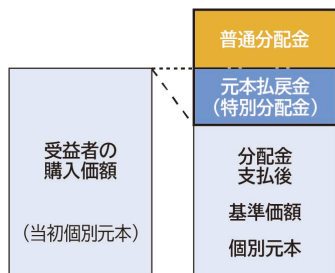
■ 前期決算日から基準価額が下落した場合



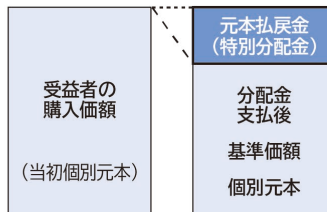
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 * 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんので留意下さい。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



■ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は**非課税扱い**となります。

普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。
 (注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた株式などの値下がりやそれらの発行者の信用状況の悪化などの影響により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

購入のお申し込みの際は、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえ、ご自身でご判断ください。基準価額の変動要因として、①価格変動リスク、②信用リスク、③カントリー・リスク、④為替変動リスク、⑤流動性リスク、その他の留意点などがあります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に販売会社が定める 3.30%（税抜3.00%）以内 の率を乗じて得た額
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 （信託報酬）	日々の投資信託財産の純資産総額に 年率1.573%（税抜1.43%）以内 の率を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。 なおインベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドでは毎計算期間の最初の6か月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）では毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。
その他の費用・手数料	<ul style="list-style-type: none"> ● 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ● 監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限として、インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドでは毎計算期間の最初の6か月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）では毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。

* お客さまにご負担いただく費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

お申し込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 * 分配金の受け取り方法により、「分配金再投資コース」と「分配金受取りコース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所のいずれかの休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する日には、購入・換金のお申し込みの受け付けを行いません。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取り消し	取引所などにおける取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	<ul style="list-style-type: none"> ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド 2019年7月11日から2029年7月10日まで（設定日：2019年7月11日） ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型） 2021年3月11日から2029年7月10日まで（設定日：2021年3月11日）
繰上償還	信託契約の一部解約により、受益権の総口数が30億口を下回るようになった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。
決算日	<ul style="list-style-type: none"> ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド 毎年7月10日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型） 毎月10日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日）
収益分配	<ul style="list-style-type: none"> ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド 年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型） 毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 <p>※委託会社の判断により分配を行わないことがあります。収益分配の詳細は「ファンドの特色」と「予想分配金提示型の分配方針」の項目をご参照ください。 ※「分配金再投資コース」でお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。</p>
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除は適用されません。
スイッチング	「インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド」と「インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）」との間でスイッチングが可能です。販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取り扱いとなる場合やファンド間でスイッチングが行えない場合があります。また、換金するファンドに対して税金がかかります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

※各ファンドについて個別に記載がない箇所については両ファンドの共通記載事項です。

※販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取り扱いとなる場合があります。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド
 インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)

販売会社 (投資信託説明書 (目論見書) のご請求・お申し込み先)

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書 (目論見書) の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。

※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	※1 世界ブロックチェーン株式ファンド 取り扱い販売会社	※2 予想分配金 提示型 コース 取り扱い 販売会社
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○			○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○		○		○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○		○	○
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	○	○
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○		○	
株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○		○	
株式会社新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○		○	○
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○				○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○				○	○
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○		○	○
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○		○	○
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○			○	○	○
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○		○		○※3	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○			○	○
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○		○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○		○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	○	○
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○				○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○	○

※1 世界ブロックチェーン株式ファンドはインベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドのことを表しています。

※2 予想分配金提示型コースはインベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型) のことを表しています。


※3 インターネットでの取り扱いのみとなります。

- 当ファンドの照会先 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社 (受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)
 電話番号 : 03-6447-3100 ホームページ : <https://www.invesco.com/jp/ja/>

スキマ時間の幅広い情報収集に!
 インベスコ・アセット・マネジメントTwitterページ
 スマートフォンやタブレットでQRコードを読み取ってご利用ください。



インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド
インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)



インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

**モーニングスター アワード
ファンド オブ ザ イヤー 2020**
国際株式型 (グローバル) 部門
優秀ファンド賞 受賞

※世界ブロックチェーン株式ファンドのみが受賞対象です

※当アワードについては巻末の「モーニングスター アワードについて」をご覧ください。
※インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型) は対象外です。

「当資料のお取り扱いにおけるご注意」

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書 (交付目論見書) を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定 (いわゆるクーリングオフ) の適用はありません。ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券など (外貨建資産には、為替変動リスクもあります。) に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

「モーニングスター アワードについて」

※ Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型 (グローバル) 部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド579本の中から選考されました。

インベスコ・アセット・マネジメント

商号等：インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第306号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会